

～丹後半島東部地域で流域治水の推進～

○気候変動による水災害の激甚化・頻発化に対応するため、宮川、男山川、三田川、真名井川、畑川、世屋川、波見川、犀川、朝妻川においても事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

対策内容

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川等の維持管理
- ・土砂災害を防止する施設の整備・維持
- ・流域の雨水貯留機能の向上・保全

■ 被害対象を減少させるための対策

※対策が実行され次第、掲載します

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水災害リスク情報空白地帯の解消
- ・住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・土砂災害危険区域等の指定
- ・土地等の購入に当たっての水災害リスク情報の提供
- ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
- ・確実な避難行動の実施
- ・排水ポンプ車導入、出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
- ・水防工法等の訓練や土のう等の備蓄資材確保など水防活動の支援
- ・被災自治体に対する支援の充実
- ・地図混乱地域の解消
- ・緊急車両の移動経路の確保

※災害からの安全な京都づくり条例に基づき、府、市等が一体となって防災対策を推進



図-2 全戸配布ネットワーク閲覧板「いねぼん」を用いた防災情報発信の高度化(提供:伊根町)



図-1 維持掘削・河道内樹木伐採
















図-3 マイクロ呑龍(各戸雨水貯留施設)

※本図は全対策の内、代表的な対策を記載している。
※具体的な対策内容については今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～丹後半島東部地域で流域治水の推進～

- 宮川、男山川、三田川、真名井川、畑川、世屋川、波見川、犀川、朝妻川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 浚渫等の河川維持管理を実施するとともに、治山施設の整備を実施する。
【中長期】 河川維持管理や森林の整備・保全を進めるとともに、「確実な避難行動の実施」等のソフト対策の充実を図る。

区分	主な対策内容	実施主体	工程 ( 対策実施中  対策完成)	
			短期 (令和5年度～令和9年度)	中長期 (令和10年度～令和34年度)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川等の維持管理	京都府・宮津市・伊根町・与謝野町		
	土砂災害を防止する施設の整備・維持	京都府		
	流域の雨水貯留機能の向上・保全	京都府・森林整備センター		
被害対象を減少させるための対策	—	—		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報空白地帯の解消	京都府・宮津市・伊根町・与謝野町		
	住民の水害リスクに対する理解促進の取組	宮津市・伊根町・与謝野町		
	土地等の購入にあたっての水害リスク情報の提供	宮津市・伊根町・与謝野町		
	避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実	京都府・宮津市・伊根町・与謝野町		
	確実な避難行動の実施	京都府・宮津市・伊根町・与謝野町		

緊急浚渫推進事業計画に基づく河道掘削

治山施設整備

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗の状況によって変更となる場合がある。